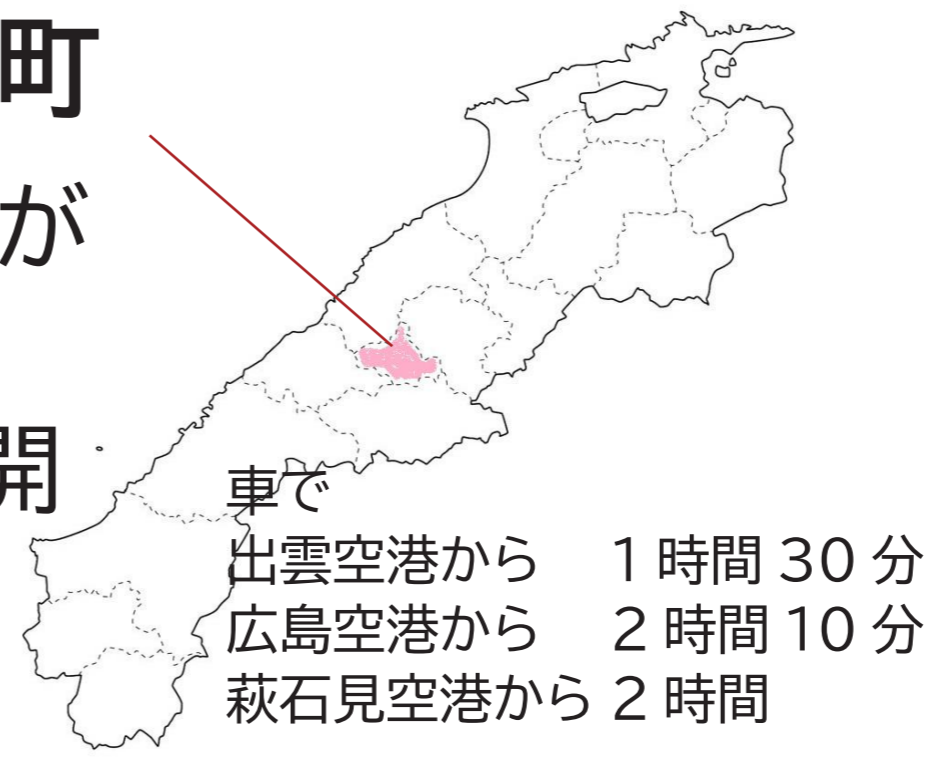


島根県川本町ってどんなまち？

平成の大合併のときに、市町村合併しなかった町

江の川流域の「川本地区」「西地区」、農村風景が広がる「三原地区」の三つの主要なエリアがある

住民組織「三原の郷未来塾」とそれを町全体に横展開する「たすけあい川本」の動きにより川本町には
住民主体の地域づくり活動が根付いてきた



車で
出雲空港から 1時間30分
広島空港から 2時間10分
萩石見空港から 2時間

《基本データ》(R4.4.30)

人口 3,109人
面積 106.43 km²
高齢化率 44.7%
自治会数 31
保育所数 3
小中高 1校ずつ

かわもと版地域包括ケアシステム

医療・看護
介護・福祉
の専門家

・出番づくり
・居場所づくり
・生活支援
を担う**住民組織**

キーピースは
住民主体の
地域づくり活動

予算をつけて
民間の活動を支援する**町役場**



みんなの学びの場「ふるさと学」



話題が尽きない昔の地図づくり



作り手も食べ手も楽しいスープの日



医師による認知症のお話



司法書士による終末のお話



家で眠っていた鯉のぼりが復活



生涯スポーツ「ボッチャ」体験



自宅で暮らすための生活支援



暮らしの保健室



役場と住民組織の定例会



各地区サロン運営者の定例会

川本町のたすけあいにおける、住民活動の大事なポイント

- インフォーマルサービスを担っている**住民組織のフットワークの軽さ**
- **動いてみたらニーズが見え、試行錯誤しているうちに賛同者・協力者が増えてきたこと**
- たすけあい活動を仕組み化した「三原の郷未来塾」の三原モデルと、それを町全域に展開し、関係機関を巻き込む「たすけあい川本」の活動が**町の重点プロジェクトとなり予算がついたこと**
- 生活支援もサロンの運営もサロンへの参加も、**原動力は「疲れたけど楽しかった！」**

今、見えてきたこと これからのこと

- 子育て・単身世帯を巻き込む地域づくりの必要性 → みんなの食堂、子どもの居場所づくり
- 地域づくりから見えた福祉の課題 → 社協、障がい者支援施設等と手探りしながら協働へ

川本町



・三原の郷未来塾・たすけあい川本

